富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和5年7月号
No.253

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 ｜ TEL 076 (424) 1531 ｜ https://www.tch.pref.toyama.jp/

向暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今月の掲載は、放射線診断科、血液内科、手術室看護です。

YouTubeで当院の「今」をお伝えしています。
是非ご覧ください。

診療科の紹介　放射線診断科

表１　外来受診表

	月	火	水	木	金
CT/MRI外来 午前	角谷	金谷	宮川	担当医	担当医
CT/MRI外来 午後	望月	担当医	出町	齊藤	阿保
RI診断外来	渡辺		隅屋		隅屋

放射線診断科スタッフ
後列左より　宮川弘亮専攻医、角谷嘉亮医長、金谷麻央副医長、齊藤順子医長、藤永悠研修医、野中華子研修医
前列左より　望月健太郎部長、出町洋部長、阿保斉部長

◆診療体制

日頃より病診連携にご協力賜り誠にありがとうございます。令和５年６月現在、当科は５人の放射線診断専門医（出町洋部長、阿保斉部長、望月健太郎部長、齊藤順子医長、角谷嘉亮医長）、金谷麻央副医長、宮川弘亮専攻医の合計７人の常勤医に加えて、４人の非常勤医師（村井佳那医師、石川聖太郎医師、隅屋寿医師、渡辺悟医師）により日常診療を行っております(表1)。

◆診療内容

当科では主としてCT、MRI、RI検査による画像診断およびIVR（Interventional Radiology; 低侵襲性治

療と呼ばれています。X 線透視や CT などの画像でからだの中を見ながらカテーテルや針を使って行う治療）を行っています。いずれも専門性の高い領域であり、それぞれのスペシャリストが責任を持って業務を遂行しています。

先生方よりご紹介いただいた患者さんについては、表 1 で示しているとおり、外来担当医師が具体的な検査内容・方法の説明および同意書の取得を行っております。画像診断報告書は従来どおり、診断専門医が作成しております。内容に関してご不明な点や疑問がございましたら、どうぞご遠慮なくご連絡・ご相談ください。

コロナ禍以降やや落ち込んでいた紹介患者数も、先生方のお力添えのおかげで、最近では令和元年度の水準を少し越える程度にまで増加しています（表 2）。重ねて感謝申し上げます。また、CT は 4 台に増設され、検査体制にも余裕が生まれたのでこれまで以上に多くの検査にも対応可能となりました。どうぞお気軽にご依頼ください。

さて、先生方よりご紹介いただいた患者さんのなかには、偶発的に緊急性の高い疾患が見つかる場合があります。その場合、患者さんに直接説明し、同意を得た上で、救急科医師による介入を経て、関係する診療科での加療を行う手順で対応しています。これにより、患者さんの安全を最優先するよう努めております。これからも安心してご紹介いただきたく存じます。

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
CT	907	956	872	877	912
MRI	885	889	765	837	1,042
RI	78	82	86	92	81
合計	1,870	1,927	1,723	1,806	2,035

表 2　高額医療機器の共同利用の推移

◆症例

実際に経験した症例の一部を提示します。

症例 1　80 歳台男性。2 型糖尿病、慢性心不全、陳旧性心筋梗塞、脂質異常症、高血圧、アルツハイマー型認知症にて紹介医通院中。今回、久しぶりのめまいを主訴に受診しました。今まで判然としてなかった斜視が認められるようになっており、糖尿病性の片側性動眼神経麻痺が疑われたため、頭部 MRI 撮像目的に当科紹介となりました。頭部 MRI の T1 強調像では両側硬膜下に T1 強調像高信号の領域を認め、硬膜下血腫と診断しました（図 1）。救急科に対診した後、脳神経外科においてドレナージ術が施行されました。

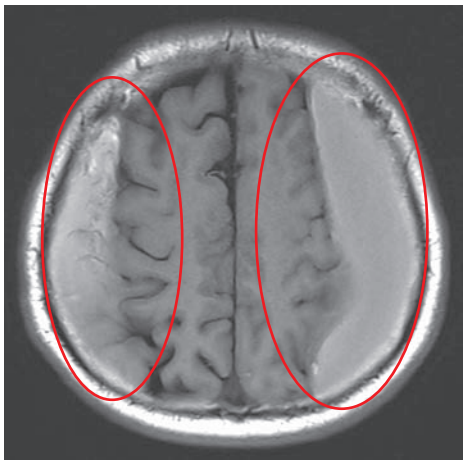

図 1
頭部 MRI
T1 強調像

症例 2　50 歳台女性。上腹部痛と 39℃の発熱にて A 病院受診、抗菌薬を処方されましたが、微熱・下腹部痛が持続するため、4 日後 B 病院（紹介医）受診。抗菌薬の継続、解熱剤の処方により症状はいったん改善しましたが、発症より 11 日目に再度腹痛を生じたため、婦人科疾患などの鑑別を含め、CT 撮像目的に当科紹介となりました。CT では虫垂は腫大し、壁の肥厚と異常造影効果、内腔の液体貯留を認めました。さらに虫垂壁の一部消失および回盲部に被包化された大きな液体貯留腔を認め、穿孔性虫垂炎及び回盲部膿瘍と診断しました（図 2）。救急科に対診した後、外科にて回盲部切除術、膿瘍ドレナージ術が施行されました。虫垂炎は非常にありふれた病気ですが、発現する症状によっては、正確な診断が難しい場合があります。診断に難渋する場合やほかの鑑別疾患を考慮する場合、CT は有力なツールとなり得るので、必要な症例についてはご検討いただければ幸いです。

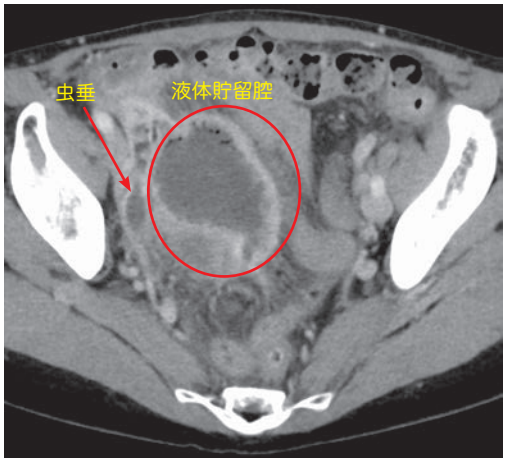

図 2　腹部造影 CT

◆最近の話題

昨年末、SYNAPSE SAI viewer （富士フイルム製）を導入しました。これは CT 画像からの臓器自動抽出など、人工知能（artificial intelligence; AI）による Deep Learning 技術を設計に用いて画像診断ワークフローを支援する読影ビューワです。このビューワの代表的な画像解析オプションのひとつとして肺結節検出機能が搭載されています。一例を示しますが、このシステムにより肺結節の候補が表示され、大きさや位置（ページ番号）、確認状況がわかります（図 3A、3B）。通常、ある程度の大きさの病変は視覚的に容易に認識できます。しかし、血管近傍の病変や小さな病変では気づきにくいこともあり、さらに、肺野条件だけでもルーチンの 3mm 厚の画像では 100 スライス数（ページ）程度とデータ量が多いことから、どうしても人間による読影作業では疲労や「解釈のぶれ」が生じる可能性があります。今回導入したシステムは常に一定の水準で、病変の候補を検出することに役立っています。さらに、このシステムは肺結節の候補を検出して表示するのみならず、結節の位置（区域）やサイズ、形状解析、過去画像とのサイズ比較などが可能です。放射線診断医は最初、従来と同様に読影しますが、その後システムにより解析された各種の画像情報を参照した上で、総合的に解釈・判断することで、読影業務の質の向上を目指しています。AI 技術は今後ますます発展・進化を遂げていきますが、AI はあくまで医師を支援するシステムであり、医師としてその特性と限界を理解の上、診療に最大限活用していきたいと思います。

（文責：阿保斉）

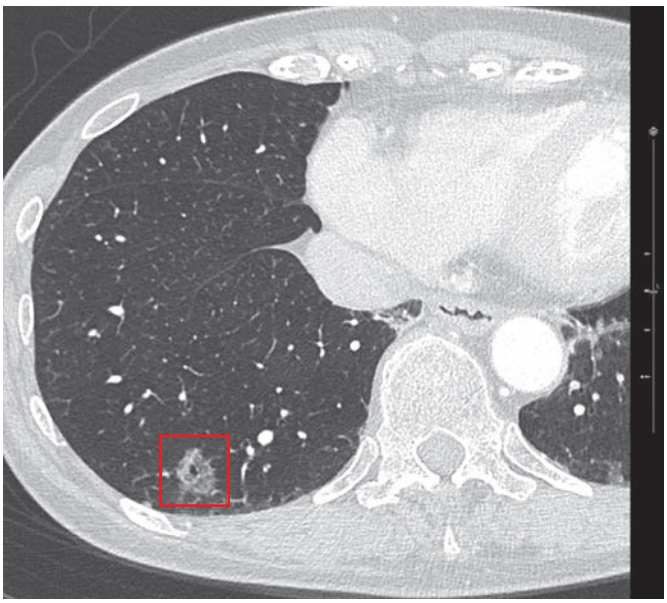

図 3A　胸部 CT

図 3B　肺結節の候補リスト

血液内科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

血液内科では、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの造血器悪性腫瘍疾患や、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病などの良性疾患の他、出血性疾患、血栓性疾患の診断と治療を行っています。

特に造血器悪性腫瘍疾患に対しては、近年新規薬剤が次々に登場し治療法が飛躍的に進歩していますので、疾患毎に最新の医学的根拠に基づいた医療を提供できるよう常に心がけています。1992年の当科開設時に富山県で初めて造血幹細胞移植を導入して以来、移植を受けられた患者さんの数は850例を超えました。年配医師1名と溌剌とした若手医師5名で切磋琢磨しています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長
近藤（こんどう）　恭夫（ゆきお）

【皆さんへ一言】
・地域の血液内科診療に貢献して参ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般、造血幹細胞移植
【専門医資格】
内科認定医・指導医・総合内科専門医、血液専門医・指導医、造血細胞移植認定医

副医長
辻（つじ）　紀章（のりあき）

【皆さんへ一言】
・丁寧な説明を心がけています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般、造血幹細胞移植
【専門医資格】
内科認定医、血液専門医・指導医

副医長
漆原（うるしはら）　涼太（りょうた）

【皆さんへ一言】
・地域と患者さんに貢献出来るよう頑張ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般、造血幹細胞移植
【専門医資格】
内科認定医、血液専門医・指導医

医師
東（ひがし）　大貴（だいき）

【皆さんへ一言】
・患者さんに寄り添った診療をします。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般
【専門医資格】
内科専攻医

医師
峯村（みねむら）　友樹（ともき）

【皆さんへ一言】
・精一杯頑張ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般
【専門医資格】
内科専攻医

医師
吉野（よしの）　裕貴（ひろき）

【皆さんへ一言】
・一生懸命頑張ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血液一般
【専門医資格】
内科専攻医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診		辻(第1、3、5)/ 漆原(第2、4)		近　藤	
再診	辻	近　藤	漆　原	辻	近　藤
					漆　原

入退院支援センターでの手術看護認定看護師活動のご紹介

現在、入退院支援センターでは、クリニカルパスに沿った入院中の予定の説明を行い、患者さんの不安や困りごとなどについて相談する場を設けています。そのなかで、主に全身麻酔で手術を受ける患者さんに対し、手術室看護師が手術に関する説明や確認をさせていただく、「術前面談」を実施しています。面談を担当する手術室看護師は、手術看護認定看護師が中心となり、麻酔科学会認定の周術期管理チーム認定看護師などと協力し、より専門的な視点で患者さんとの情報共有を行っています。術後の痛み止めはどうするのか、麻酔はどの様に行うのか、手術に関する不安や疑問を抱いていないかなど、手術室看護師だからこそ分かる事を患者さんと直接お話ししています。患者さんが、より具体的なイメージを持つことができ、「漠然とした不安」を少しでも和らげられる事を期待して対応にあたっています。また、必要時、入退院支援センターの看護師から病棟への情報提供を行い、継続看護に努めています。

近年では先端医療の発展により、様々な術式が導入されています。その多くは低侵襲手術であり、患者さんへの負担は軽減されています。しかし、低侵襲手術では、様々な手術体位を取ることが多く、患者さんの体型や、身体的特徴は非常に重要な情報となります。例えば、ロボット支援下手術では、約30°の頭低位になる場合があります。術前面談では、実際に上肢を挙上してもらったり、皮膚トラブルや神経損傷のリスクを把握するための様々な情報収集を行い、最適な体位が保持できるようにアセスメントしていきます。手術体位の保持が困難であると判断した患者さんについては、主治医やWOCと連携し、手術前日に患者さんに手術室まで来ていただき、実際に手術体位をシミュレーションしてみる場合もあります。また、手術の低侵襲化に伴い、超高齢の患者さんも手術が受けられるようになりました。高齢化に伴い、合併症を有する患者さんも増えています。患者さんの状態を早くからキャッチできる術前面談は、より安全な手術を受けるため非常に有用であると感じています。

今後も、術前面談を通じ、患者さんのニーズにあった情報提供と、安全な手術を提供するため、多職種間の情報共有やチーム連携につなげていきたいと考えています。

	手術件数	入退院支援センターでの術前面談件数	手術前日の術前訪問件数
R3 年	7129 件	256件	1861 件
R4 年	7095 件	218 件	2063 件

体位シミュレーションの様子

術前面談の様子

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

8月開催予定

★第170回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年8月3日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年8月21日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和5年8月22日（火）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年8月 1、8、15、22、29日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

9月開催予定

★第171回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年9月7日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年9月11日（月）19時から
場 所：ホテルグランテラス富山　※事前申込必要

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年9月14日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★第124回 漢方症例検討会
日 時：令和5年9月22日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和5年9月28日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年9月 5、12、19、26日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

2 8月の外来診療に関する医師不在日

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

科　名	医師名	不在日
腎臓・高血圧内科	篠崎医師	14日(月)
循環器内科	臼田(和)医師	15日(火)
	丸山医師	14日(月)、15日(火)
	音羽医師	4日(金)
	近田医師	28日(月)
	松浦医師	14日(月)
血液内科	近藤医師	15日(火)
呼吸器内科	谷口医師	14日(月)、15日(火)
消化器内科	酒井医師	15日(火)
内分泌・代謝内科	吉澤医師	14日(月)
	船崎医師	4日(金)
腫瘍内科	小川医師	14日(月)、15日(火)
リウマチ・和漢診療科	藤永医師	14日(月)～18日(金)
	津田(玲)医師	9日(水)
脳神経内科	多田医師	30日(水)
呼吸器外科	新納医師	25日(金)
心臓血管外科	大高医師	4日(金)、25日(金)
	外川医師	22日(火)、23日(水)、25日(金)
小児科	宮下医師	7日(月)～10日(木)
	上野医師	9日(水)
	谷内医師	21日(月)
外科	加治医師	15日(火)
	廣瀬医師	22日(火)、24日(木)
	倉田医師	7日(月)、24日(木)
乳腺外科	吉川(朱)医師	28日(月)
	中村医師	4日(金)
整形外科	丸箸医師	15日(火)、23日(水)
	笹川医師	22日(火)、23日(水)
	香川医師	7日(月)、17日(木)、18日(金)
	相川医師	8日(火)、10日(木)
形成外科	池田医師	4日(金)
脳神経外科	齋藤(祥)医師	4日(金)
小児外科	山崎医師	7日(月)～10日(木)
産婦人科	南医師	18日(金)
	吉越医師	24日(木)
	草開(妙)医師	10日(木)、24日(木)
泌尿器科	瀬戸(親)医師	15日(火)
	島(崇)医師	7日(月)、8日(火)、18日(金)
	武澤医師	4日(金)
眼科	西野医師	23日(水)、25日(金)
耳鼻いんこう科	浦本医師	10日(木)、31日(木)
	吉川(智)医師	15日(火)
歯科口腔外科	小島歯科医師	28日(月)～31日(木)
	倉部歯科医師	28日(月)、30日(水)
放射線診断科	阿保医師	14日(月)
	望月医師	1日(火)～4日(金)、8日(火)
	齊藤(順)医師	18日(金)
	角谷医師	14日(月)
	金谷医師	15日(火)
放射線治療科	髙医師	1日(火)～4日(金)、10日(木)

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、環境整備を徹底して実施いたします。

編集後記

今年もはや半分が過ぎましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。編集後記を記している今は梅雨の最中で、連日の雨が続いています。七夕生まれの私にとって7月は、ひとつの区切りとなります。自然が好きな私は夏の訪れにも心躍りますが、梅雨の雨模様が心配で予定を入れられず晴れた日を狙って少し遠出をして楽しむ日々を過ごしております。先日は隣県にお出かけしてきました。ロープウェイにのって山頂へあがり、ハンモックにゆられ、テントで寝転び、ゆったりとした時間を過ごしました。

例年梅雨明けとともにあっという間に暑さが厳しい日となりますが、皆様のご健康を心よりお祈りいたします。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

（地域連携室保健師　市野由香）

宇津江四十八滝
撮影：地域連携室看護師
吉田弘子

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp